

令和4年度 第1回三島市郷土資料館運営協議会議事録

<日時> 令和4年7月7日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで

<場所> 郷土資料館 多目的室

<会議の公開・非公開の別> 公開

<出席委員の氏名> 迫田信行、加藤雅功、奥村徹也、増島淳、橋本敬之 坪井則子、
齋藤幸蔵、小藪余志美、大村朱実

<事務局出席者氏名> 鈴木教育推進部長、寺田文化財課長 芦川郷土資料館長 柿島学芸員、
笹山学芸員、水口副主任

<傍聴人> なし

<内容>

- 1 開会 事務局
- 2 委嘱状交付 省略
- 3 教育長あいさつ 鈴木教育推進部長(教育長欠席のため)
- 4 委員長あいさつ 迫田委員長
- 5 議事 (慣例により迫田委員長が議長で議事進行を行う。)
 - (1) 令和3年度事業経過報告について 芦川館長が説明

<委員質疑>

委員 資料4ページの購入資料の静岡県伊豆国下田鉄道敷設請願書に地図はついていたか。

事務局 ついていなかった。購入資料は今後新規収蔵品展で公開したい。

委員 資料4ページの購入資料について、浮世絵が出たので購入したとのことだが、購入ルートはどうなっているのか。

事務局 古書店から目録が届くので学芸員が購入すべきものの有無について目を通していき、また三島に関わる資料については古書店から直接連絡が入るケースもある。購入金額について限度があるが、予算の範囲内で購入している。

事務局 ネットにまとまって出展されたものの対応に困っている。教育委員会で相談もしている。

委員 河合家関連の文書が1週間くらい前にインターネットオークションに出品されていた。それらは購入の対象となるのか。

事務局 館でも出品されていることは承知している。ただし、古書店などでの販売と違い、オークションに出品されたものの買い取りは難しい。

委員 購入資料は決算報告のどこに記載されているのか。

事務局 企画展示事業の予算で、購入金額により備品もしくは消耗品で計上している。

委員 予算枠をあらかじめ取れるのは良いね。ただ、消耗品で購入した場合、決算報告で他の一般消耗品に埋もれてしまい1年間でどれくらいの額を資料購入に充てる必要があるのか見えづらくなってしまっている。

部長 来年度以降、年間に使った金額を報告するようにする。次回報告する。

委員 購入資料の静岡県伊豆国下田鉄道敷設請願書について、一般人が軍需鉄道敷設の請願があったというのが興味深い。

事務局 軍需鉄道招致で地元の活性化をすることが目的の一つとなっている。

委員 沼津の蛇松線も明治20年前から動きがあり、東海道線整備も軍が絡んでいる。この時代は軍事を名目にして鉄道網整備が行われている。

委員 自身の寄贈したものはニュープリントの浮世絵なので、退色を気にせず、ぜひ蛍光灯の下でも展示してほしい。

(2) 令和4年度事業計画（案）について館長が説明

事務局 今後、3市博物館共同企画で観光と土産物の歴史について、2つ目として、古代の伊豆国について、3つ目として三島の文化人についての企画展を計画している。また、楽寿園の来園者の約2割が郷土資料館に来館している。次回までに通算来館者が400万人達成したか報告する。また、三嶋暦の資料が増えているので、今回の展示は充実したものとなった。

<委員質疑>

委員 各種団体の負担金が令和4年度は3年度に比べ増加したが、なぜか。

事務局 三島地域資料調査会の負担金が増加したため。また、夏梅木遺跡出土の大刀類が4本あるが、剥落がひどく緊急の修復が常設展示には必要であった。剥落のひどい1本の修復の予算50万円位が企画展示事業とした確保できた。その他、地方創生交付金の1/2補助で、三島の文化人展で展示予定の書など3本を追加で修復に出すこととした。マクリの状態で見せる状態になかったため。

6 閉会 事務局

〈終了〉